

平成 20 年（2008 年）4 月 3 日

市議会議員各位

横須賀市議会議長 山口 道夫

米兵によるタクシー運転手刺殺事件に対する抗議文の提出について

標記抗議文を提出すること及び案文については、さる 3 月 25 日に開催された議会運営委員会において、正副議長に一任していただくことが決定されているところではありますが、本日、神奈川県警察は、事件の被疑者として米海軍横須賀基地所属の兵士を逮捕したと発表しました。

については、次のとおり抗議文を提出しましたので、ご承知おきください。

- 1 抗議文 別紙のとおり
- 2 提出日等 平成 20 年（2008 年）4 月 3 日
来庁時に手交する
- 3 提出先
 - （1）駐日米国大使 J・トーマス・シーファー
 - （2）米海軍第七艦隊司令官 ウィリアム・D・クラウダー中将
 - （3）在日米軍司令官 エドワード・ライス中将
 - （4）在日米海軍司令官 ジェームズ・D・ケリー少将

(別紙)

横議議第 号

平成 20 年 (2008 年) 4 月 3 日

- | | |
|-----------------------------|------|
| 1 駐日米国大使 J・トーマス・シーファー | } あて |
| 2 米海軍第七艦隊司令官 ウィリアム・D・クラウド中将 | |
| 3 在日米軍司令官 エドワード・ライス中将 | |
| 4 在日米海軍司令官 ジェームズ・D・ケリー少将 | |

横須賀市議会議長 山 口 道 夫

米兵によるタクシー運転手刺殺事件に対する抗議

去る 3 月 19 日夜、市内において発生したタクシー運転手刺殺事件の被疑者として、米海軍横須賀基地に所属する兵士が逮捕された。

本市では、平成 18 年 1 月 3 日の出勤途中の女性会社員殺害事件を初め、同年 8 月 31 日及び 12 月 2 日の傷害事件等々、米兵による犯罪が頻発し、罪のない市民が被害を受けている。

これら一連の不幸事に、米側は、兵員教育や外出禁止など再犯防止に努めるための綱紀粛正策、地域安全安心プログラムを実施し、本市においても、米軍への教育訓練徹底、綱紀粛正、事件再発防止に真摯に取り組むよう再三の抗議、猛省を求めてきた。そうした中における今回の事件は、改めて横須賀市民に強い衝撃と不安を与えるとともに、市民の米軍への不信感は増大する一方となっている。

よって、本市議会は、市民の安全で安心な生活を守る立場から、このような事件に対し遺憾の意を表明するとともに、改まらぬ米軍及び米兵の体質に激しい憤りを禁じ得ず、米軍に対し厳重に抗議するものである。